

平成29年10月27日
 教育指導課 子ども安全支援室
 担当者：室長 村本 愛治
 電話：0852-22-6842

平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について（詳細版）

I 暴力行為の発生状況（公立の小・中・高等学校） ※（ ）内数値は前年度

796件(前年度516件)小446件(174)、中326件(322)、高24件(20)
 ※前年比 280件増(54.3%増)

年度	校種別	公立小学校	公立中学校	公立高等学校	公立合計	県(国公立)	全国(国公立)
		発生件数 (1000人あたり)	発生件数 (1000人あたり)	発生件数 (1000人あたり)	発生件数 (1000人あたり)	合計 (1000人あたり)	1000人あたりの発生件数
H24		7.3 (2.0)	20.6 (10.9)	4.4 (2.8)	32.3 (4.5)	34.0 (4.5)	4.1
H25		8.7 (2.4)	27.6 (14.8)	2.3 (1.4) ※2.3 (1.5)	38.6 (5.4) ※38.6 (5.5)	41.0 (5.3)	4.3
H26		7.6 (2.1)	27.6 (14.8)	3.2 (1.9) ※3.2 (2.1)	38.4 (5.4) ※38.4 (5.6)	39.5 (5.2)	4.0
H27		17.4 (5.0)	32.2 (17.5)	2.0 (1.2) ※2.0 (1.4)	51.6 (7.4) ※51.6 (7.6)	52.9 (7.1)	4.2
H28		44.6 (12.8)	32.6 (18.1)	2.4 (1.5) ※2.4 (1.6)	79.6 (11.5) ※79.6 (11.8)	82.1 (11.0)	4.4

(平成25年度以降の数値は通信制高校を含む。※は通信制高校を含まない数値)

(1) 暴力行為を起こした児童生徒が在籍する学校数 ※（ ）内数値…前年度

学校内 138校(107) [小71(48)、中52(45)、高15(14)]
 学校外 17校(12) [小11(5)、中5(5)、高1(2)]

(2) 形態別 ※（ ）内数値…前年度

①対教師暴力 113件(52) [小65(21)、中44(29)、高4(2)]
 加害児童生徒数 82人(35) [小53(14)、中25(19)、高4(2)]

②生徒間暴力 530件(350) [小333(123)、中180(210)、高17(17)]
 加害児童生徒数 579人(395) [小347(141)、中212(233)、高20(21)]

③対人暴力 15件(5) [小7(1)、中8(3)、高0(1)]
 加害児童生徒数 17人(5) [小5(1)、中12(3)、高0(1)]

④器物損壊 138件(109) [小41(29)、中94(80)、高3(0)]
 加害児童生徒数 165人(127) [小60(39)、中102(88)、高3(0)]

(3) 加害児童生徒の学年別内訳

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3・4	合計
H27	16	22	46	36	41	34	122	139	82	11	9	4	562
男子	(13)	(20)	(45)	(32)	(36)	(28)	(119)	(136)	(78)	(11)	(9)	(3)	(530)
女子	(3)	(2)	(1)	(4)	(5)	(6)	(3)	(3)	(4)	(0)	(0)	(1)	(32)
H28	50	84	104	93	56	78	125	124	102	14	11	2	843
男子	(37)	(77)	(97)	(76)	(54)	(71)	(112)	(109)	(92)	(13)	(11)	(2)	(751)
女子	(13)	(7)	(7)	(17)	(2)	(7)	(13)	(15)	(10)	(1)	(0)	(0)	(92)

(4) 小・中学校及び市町村教育委員会で出席停止の措置がとられた児童生徒

0人 (平成27年度 0人)

(5) 高等学校で退学、停学、訓告等の措置がとられた加害生徒数

	退学・転学		停学	謹慎	訓告	合計
	(懲戒処分としての退学)	その他				
H27年度	0	0	10	11	3	24
H28年度	0	1	19	0	4	24

(6) 加害児童生徒に対する関係機関の措置別人数

	校種	警察の補導	家庭裁判所	少年刑務所	少年院	保護観察	児童自立支援施設	児童相談所	合計
H 27 年	小学校	0	0	—	0	0	0	1	1
	中学校	2	2	—	0	1	1	6	12
	高校	0	0	0	0	0	0	0	0
H 28 年	小学校	1	0	—	0	0	0	2	3
	中学校	4	2	—	0	0	1	3	10
	高校	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅱ いじめの発生状況(公立の小・中・高等学校及び特別支援学校)

認知件数1,618件(前年度954件)

※前年比 664件増(69.6%増)

<公立学校>

校種別 年度	小学校 認知件数 (1000人あたり)	中学校 認知件数 (1000人あたり)	高等学校 認知件数 (1000人あたり)	特別支援学校 認知件数 (1000人あたり)	合 計 (1000人あたり)	国公立合計 (1000人あたり)	
						県 (国公立)	全国 (国公立)
H24	215(5.9)	143(7.6)	88(5.7)	12(13.0)	458(6.4)	473(6.1)	(14.3)
H25	135(3.7)	140(7.5)	48(2.8) ※48(3.2)	5(5.3)	328(4.5) ※328(4.6)	344(4.4)	(13.4)
H26	389(10.9)	204(11.0)	69(4.2) ※69(4.6)	23(24.1)	685(9.6) ※685(9.8)	703(9.1)	(13.7)
H27	532(15.2)	299(16.2)	93(5.7) ※69(4.6)	30(31.5)	954(13.5) ※685(9.8)	985(13.0)	(16.4)
H28	1,027(29.5)	422(23.4)	113(7.0) ※113(7.7)	56(58.3)	1,618(23.1) ※1,618(23.6)	1,643 (21.8)	(23.9)

(平成25年度からの数値は通信制高校を含む。※は通信制高校を含まない数値)

(1) いじめを認知した学校数 ※()内数値…前年度

255校(207) [小141(114)、中75(65)、高33(24)、特6(4)]

(2) 警察に相談・通報した学校数・件数 ※()内数値…前年度

学校数 9校(4) [小0(1)、中7(2)、高2(1)、特0(0)]

件数18件(4) [小0(1)、中16(2)、高2(1)、特0(0)]

(3) いじめの現在の状況

	解消しているもの (日常的に観察継続中)	解消に向けて取組中	その他	計
小学校	993	31	3	1,027
中学校	343	77	2	422
高等学校	96	14	3	113
特別支援学校	56	0	0	56
計	1,488	122	8	1,618

(4) いじめの認知件数の学年別内訳

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	特	合計
H27	53	68	101	98	108	104	164	106	29	49	28	16	30	954
男子	(34)	(38)	(70)	(52)	(57)	(48)	(108)	(64)	(16)	(26)	(17)	(9)	(16)	(555)
女子	(19)	(30)	(31)	(46)	(51)	(56)	(56)	(42)	(13)	(23)	(11)	(7)	(14)	(399)
H28	143	163	184	209	173	155	213	145	64	64	35	14	56	1,618
男子	(78)	(113)	(110)	(114)	(100)	(78)	(120)	(73)	(32)	(36)	(13)	(8)	(34)	(909)
女子	(65)	(50)	(74)	(95)	(73)	(77)	(93)	(72)	(32)	(28)	(22)	(6)	(22)	(709)

(5) いじめの発見のきっかけ

H		学校の教職員等が発見 (292件)					学校の教職員以外からの情報により発見 (662件)							合計
		学級担任が発見	学級担任以外の教職員が発見	養護教諭が発見	スクールカウンセラー等の相談員が発見	アンケート調査など学校の取組により発見	本人からの訴え	当該児童生徒の保護者からの訴え	児童生徒(本人を除く)からの情報	保護者(本人補保護者を除く)からの情報	地域の住民からの情報	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	その他(匿名による投書など)	
27年度	小	94	19	3	0	12	152	163	45	39	2	3	0	532
	中	39	32	6	0	16	99	55	29	20	0	2	1	299
	高	5	0	1	0	48	13	8	6	5	0	7	0	93
	特	7	10	0	0	0	11	0	1	1	0	0	0	30
	計	145	61	10	0	76	275	226	81	65	2	12	1	954
H28年度	学校の教職員等が発見 (439件)					学校の教職員以外からの情報により発見 (1,179件)								
	小	160	36	7	0	36	440	230	68	33	6	10	1	1,027
	中	51	43	4	1	17	135	95	63	11	1	0	1	422
	高	5	3	1	1	48	37	12	4	2	0	0	0	113
	特	10	11	0	0	5	12	14	3	1	0	0	0	56
計	226	93	12	2	106	624	351	138	47	7	10	2	1,618	

(6) いじめられた児童生徒の相談の状況 (複数回答)

		学級担任に相談	学級担任以外の教職員に相談	養護教諭に相談	スクールカウンセラー等の相談員に相談	学校以外の相談機関に相談	保護者や家族等に相談	友人に相談	その他(地域の人など)	誰にも相談していない	合計
H27年度	小学校	361	52	29	12	4	251	18	1	34	762
	中学校	208	60	36	20	4	95	21	1	16	461
	高校	56	15	9	7	7	16	5	0	12	127
	特支	26	3	0	0	0	3	0	0	2	34
	計	651	130	74	39	15	365	44	2	64	1,384
H28年度	小学校	732	89	51	12	13	292	26	6	64	1,285
	中学校	242	84	44	18	6	134	57	2	55	642
	高校	74	31	17	12	2	25	19	0	11	191
	特支	19	11	0	0	0	12	5	1	11	59
	計	1,067	215	112	42	21	463	107	9	141	2,177

(7) いじめの態様 (複数回答)

		冷やかし、からかい、悪口、脅し文句、いやなことを言われる	仲間はずれ、集団による無視をされる	軽くぶつかられる、遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりする	ひどくぶつかられる、叩かれたり蹴られたりする	金品をたかられる	金品を隠される、盗まれる、壊される、捨てられる	嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	パソコンや携帯電話で、誹謗中傷やいやなことをされる	その他	合計
H 2 7 年 度	小	311	70	121	48	5	35	60	6	27	683
	中	178	54	50	22	10	16	53	19	19	421
	高	65	15	13	3	1	1	11	22	2	133
	特	15	4	6	2	0	3	1	1	0	32
	計	569	143	190	75	16	55	125	48	48	1,269
H 2 8 年 度	小	552	109	203	87	7	63	90	4	81	1,196
	中	232	57	76	22	11	62	49	43	15	567
	高	74	17	5	10	2	3	8	16	6	141
	特	28	3	9	6	1	1	4	13	4	69
	計	886	186	293	125	21	129	151	76	106	1,973

(8) いじめの対応状況

① いじめの児童生徒への特別な対応 (複数回答)

		スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	校長、教頭が指導した。	別室指導した。	学級替えをした。	退学・転学 懲戒処分としての退学	その他	停学	出席停止	自宅学習・自宅謹慎	訓告	保護者への報告	いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	関係機関等との連携					合計
														警察等の刑事司法機関等との連携	児童相談所等福祉機関等との連携	病院等の医療機関等との連携	その他の専門的な関係機関との連携	地域の人材や団体等との連携	
H 2 7 年 度	小学校	16	95	222	11	—	0	—	0	—	0	391	341	1	2	1	5	4	1,089
	中学校	11	56	85	1	0	0	—	0	—	0	257	215	3	4	2	4	0	638
	高校	3	18	27	0	0	1	4	—	4	5	22	14	2	0	0	3	0	103
	特支	3	1	26	0	0	0	0	—	0	0	24	22	0	3	0	0	0	79
	計	33	170	360	12	0	1	4	0	4	5	694	592	6	9	3	12	4	1,909
H 2 8 年 度	小学校	21	98	145	1	—	2	—	0	—	0	654	548	0	3	4	4	4	1,484
	中学校	8	39	71	1	0	1	—	0	—	1	336	295	3	4	3	7	2	771
	高校	7	15	13	0	0	0	21	—	0	5	50	31	1	0	1	1	0	145
	特支	1	0	15	0	0	0	2	—	0	0	20	24	0	6	0	0	0	68
	計	37	152	244	2	0	3	23	0	0	6	1,060	898	4	13	8	12	6	2,468

② いじめられた児童生徒への特別な対応（複数回答）

		スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	別室を提供、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	緊急避難としての欠席	学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	学級替えをした	当該いじめについて教育委員会と連携して対応	児童相談所等関係機関と連携した対応	合計
H 2 7 年 度	小学校	16	46	2	106	11	39	5	225
	中学校	29	20	1	105	1	30	7	193
	高校	7	2	0	10	0	13	0	32
	特支	3	7	0	2	0	0	0	12
	計	55	75	3	223	12	82	12	462
H 2 8 年 度	小学校	23	21	2	116	1	35	2	200
	中学校	34	33	0	121	1	51	7	247
	高校	29	7	1	14	0	3	1	55
	特支	0	3	0	1	0	0	0	4
	計	86	64	3	252	2	89	10	506

(9) いじめ防止対策推進法に関して (※平成29年3月31日時点の状況)

- ① いじめ防止対策推進法第13条に基づく「学校いじめ防止基本方針」を策定した学校数(公立)
 - ・小学校205校(100%)、中学校98校(100%)、高等学校41校(100%)、特別支援学校12校(100%)
- ② いじめ防止対策推進法第22条に基づく「学校におけるいじめの防止等の対策のための組織」を設置した学校数(公立)
 - ・小学校205校(100%)、中学校98校(100%)、高等学校41校(100%)、特別支援学校12校(100%)
- ③ いじめ防止対策推進法第12条に規定する「地方いじめ防止基本方針」を策定した自治体数
 - ・島根県は策定済
 - ・島根県19市町村の状況(単位：市町村)
策定済(18) 策定に向けて検討中(1) 策定するかどうかを検討中(0) 策定しない(0)
- ④ いじめ防止対策推進法第14条1項に規定する「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した自治体数
 - ・島根県は条例により設置済
 - ・島根県19市町村の状況(単位：市町村)
条例による設置(12) 条例による設置ではないが、法の主旨を踏まえた会議体を設置(1)
設置に向けて検討中(4) 設置するかどうかを検討中(0) 設置しない(2)
- ⑤ いじめ防止対策推進法及びいじめ防止基本方針に基づき、条例により「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体数

<島根県>

ア 教育委員会の附属機関

- ・島根県は条例により設置済

イ 地方公共団体の長の附属機関(法第30条第2項の附属機関)

- ・島根県は条例により設置済

ウ 地方公共団体の長の附属機関(法第31条第2項の附属機関)

- ・島根県は条例により設置済

<島根県19市町村>

ア 教育委員会の附属機関

- ・島根県19市町村の状況(単位：市町村)

設置済(16) 設置に向けて検討中(2) 設置するかどうかを検討中(1) 設置しない(0)

イ 地方公共団体の長の附属機関

- ・島根県19市町村の状況(単位：市町村)

設置済(14) 設置に向けて検討中(1) 設置するかどうかを検討中(3) 設置しない(1)

Ⅲ 小学校及び中学校における長期欠席の状況(公立)

不登校の児童生徒数781人(前年度 699人)※前年度 82人増(11.7%増)
小学校220人(前年度192人)、中学校561人(前年度507人)

(1) 理由別長期欠席者数 (小学校)

	在籍者数	理由別長期欠席者数				
		病気	経済的理由	不登校	その他	計
H26年度	35,602	44(0.12%)	0(0.0%)	183(0.51%)	63(0.18%)	290(0.81%)
H27年度	35,072	35(0.10%)	0(0.0%)	192(0.55%)	64(0.18%)	291(0.83%)
H28年度	34,808	39(0.11%)	0(0.0%)	220(0.63%)	95(0.27%)	354(1.02%)

理由別長期欠席者数 (中学校)

	在籍者数	理由別長期欠席者数				
		病気	経済的理由	不登校	その他	計
H26年度	18,620	42(0.23%)	0(0.0%)	533(2.86%)	56(0.30%)	631(3.39%)
H27年度	18,416	55(0.30%)	0(0.0%)	507(2.75%)	68(0.37%)	630(3.42%)
H28年度	18,026	48(0.27%)	0(0.0%)	561(3.11%)	100(0.55%)	709(3.93%)

(2) 不登校児童生徒が在籍する学校数

平成26年度 (314校(小215、中99校)のうち)・・・159校 [小83校、中76校]
 平成27年度 (308校(小210、中98校)のうち)・・・156校 [小80校、中76校]
 平成28年度 (303校(小205、中98校)のうち)・・・163校 [小88校、中75校]

(3) 不登校児童生徒の学年別内訳

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
H26年度	6	5	20	35	59	58	130	190	213	716
H27年度	7	12	20	40	54	59	121	185	201	699
H28年度	7	19	30	41	56	67	158	184	219	781

(4) 不登校児童生徒のうち前年度不登校の有無

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
不登校数	7	19	30	41	56	67	158	184	219	781
有	—	5	9	16	21	42	36	98	148	375
無	—	14	21	25	35	25	122	86	71	399

(5) 不登校の要因 平成28年度

分類 児童数	小学校									中学校										
	学校に係る状況								家庭に係る状況	学校に係る状況								家庭に係る状況		
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不応		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不応			
「学校における人間関係」に課題	40	1	25	5	3	0	0	0	1	7	104	4	85	3	16	1	11	0	4	17
「あそび・非行」の傾向がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	4	1	5	2	0	5	3	13
「無気力」の傾向がある	50	0	6	0	10	2	0	1	1	35	132	0	19	0	40	9	5	3	6	56
「不安」の傾向がある	75	0	15	0	16	5	0	1	3	39	207	0	66	1	46	18	7	1	10	43
「その他」	55	0	4	0	5	2	0	0	2	32	93	0	7	2	12	3	2	0	4	35
計	220	1	50	5	34	9	0	2	7	113	561	4	181	7	119	33	25	9	27	164

平成27年度

分類 児童数	小学校									中学校										
	学校に係る状況								家庭に係る状況	学校に係る状況								家庭に係る状況		
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不応		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不応			
「学校における人間関係」に課題	42	0	34	3	1	0	1	1	3	3	78	2	66	4	10	3	7	0	6	11
「あそび・非行」の傾向がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	1	0	0	1	0	0	0	7
「無気力」の傾向がある	45	0	6	1	12	0	0	2	1	24	125	0	15	2	44	14	3	5	9	53
「不安」の傾向がある	59	0	13	1	4	1	0	0	3	22	202	0	54	1	38	19	5	1	19	44
「その他」	46	0	2	0	1	0	0	1	1	26	91	0	10	1	9	6	4	0	8	27
計	192	0	55	5	18	1	1	4	8	75	507	2	146	8	101	43	19	6	42	142

(6) 不登校児童生徒への指導結果状況

○指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒

- ・平成28年度 不登校児童生徒781人のうち248人 [小 62人、中 186人]
- ・平成27年度 不登校児童生徒699人のうち260人 [小 75人、中 185人]
- ・平成26年度 不登校児童生徒716人のうち236人 [小 64人、中 172人]

○継続した登校には至らないが好ましい変化がみられるようになった児童生徒

- ・平成28年度 不登校児童生徒781人のうち149人 [小 47人、中 102人]
- ・平成27年度 不登校児童生徒699人のうち128人 [小 37人、中 91人]
- ・平成26年度 不登校児童生徒716人のうち146人 [小 38人、中 108人]

IV 高等学校における長期欠席の状況等(公立)

不登校の生徒数 208人(全日制130人、定時制78人)
 (前年度 200人) ※前年比 8人増(4.0%増)

(1) 理由別長期欠席者数 (全日制及び定時制高等学校)

	在籍者数	理由別長期欠席者数				計
		病気	経済的理由	不登校	その他	
H 2 8	14,629	55(0.38%)	1(0.01%)	208(1.42%)	17(0.12%)	281(1.92%)
H 2 7	14,621	49(0.34%)	4(0.03%)	200(1.37%)	47(0.32%)	300(2.05%)

(2) 不登校児童生徒が在籍する学校数

平成28年度(39校(全日制36校、定時制3校)のうち)・・・31校〔全28校、定3校〕

平成27年度(39校(全日制36校、定時制3校)のうち)・・・33校〔全30校、定3校〕

(3) 不登校生徒の学年別内訳

	全日制					定時制					
	1年生	2年生	3年生	単位制	合計	1年生	2年生	3年生	4年生以上	単位制	合計
H 2 8	59	44	22	5	130	0	0	1	0	77	78
H 2 7	68	49	30	5	152	1	0	1	0	46	48

(4) 不登校生徒のうち前年度不登校の有無

	全日制				定時制				合計
	高1	高2	高3	単位制	高1	高2	高3	単位制	合計
不登校数	59	44	22	5	0	0	1	77	208
有	26	20	9	0	0	0	1	38	94
無	28	23	13	5	0	0	0	39	108
その他	5	1	0	0	0	0	0	0	6

(5) 不登校の要因

平成28年度

分類別生徒数	全日制高校									定時制高校										
	学校に係る状況								家庭に係る状況	学校に係る状況								家庭に係る状況		
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、進級時の不適応		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、進級時の不適応			
「学校における人間関係」に課題	24	1	17	1	1	4	0	0	2	2	7	0	7	0	0	0	0	0	0	
「あそび・非行」の傾向がある	3	0	1	0	1	1	0	0	0	2	7	0	3	0	1	0	0	4	0	1
「無気力」の傾向がある	30	0	3	0	5	5	0	0	3	4	20	0	3	0	6	2	0	0	0	12
「不安」の傾向がある	40	0	6	1	14	8	1	0	2	9	15	0	2	0	2	3	0	0	0	4
「その他」	33	0	0	0	8	10	0	0	0	5	29	0	3	0	2	2	0	0	2	26
計	130	1	27	2	29	28	1	0	7	22	78	0	18	0	11	7	0	4	2	43

平成27年度

分類別生徒数	全日制高校									定時制高校										
	学校に係る状況								家庭に係る状況	学校に係る状況								家庭に係る状況		
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、進級時の不適応		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応	学校の決まり等をめぐる問題	入学、進級時の不適応			
「学校における人間関係」に課題	38	1	32	0	2	1	5	0	1	2	8	0	5	1	0	0	1	0	1	2
「あそび・非行」の傾向がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	0	3	0	0
「無気力」の傾向がある	32	0	0	0	12	2	0	1	3	7	16	0	4	0	2	4	0	0	3	9
「不安」の傾向がある	46	0	4	0	7	9	3	0	7	3	10	0	4	0	0	1	0	0	1	3
「その他」	36	0	0	0	4	1	1	0	1	7	10	0	2	0	2	1	0	0	3	5
計	152	1	36	0	25	13	9	1	12	19	48	0	18	1	5	6	1	3	8	19

(6) 不登校生徒への指導結果状況

○指導の結果登校する又はできるようになった生徒

- ・平成28年度 不登校生徒208人のうち105人 [全41人、定64人]
- ・平成27年度 不登校生徒200人のうち 85人 [全63人、定22人]
- ・平成26年度 不登校生徒219人のうち 80人 [全65人、定15人]

○継続した登校には至らないが好ましい変化がみられるようになった生徒

- ・平成28年度 不登校生徒208人のうち 14人 [全7人、定7人]
- ・平成27年度 不登校生徒200人のうち 9人 [全6人、定3人]
- ・平成26年度 不登校生徒219人のうち 16人 [全7人、定9人]

(7) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

- 中途退学 平成28年度 27人(13.0%) (全日制13、定時制 14)
平成27年度 22人(11.0%) (全日制18、定時制 4)
平成26年度 8人(3.7%) (全日制 6、定時制 2)

- 原級留置 平成28年度 33人(15.9%) (全日制32、定時制 1)
平成27年度 40人(20.0%) (全日制37、定時制 3)
平成26年度 30人(13.7%) (全日制29、定時制 1)

V 高等学校中途退学者(公立高等学校中途退学者)の状況

317人(全日制82人(44人)、定時制23人(18人)、通信制212人(19人))
(前年度81人) ※前比 236人増(291.4%増)

(1) 退学者数(平成25年度調査から通信制を含む)

全日制	H28年度	学業不振	学校生活・学業不適応	進路変更	病気・けが・死亡等	経済的理由	家庭の事情	問題行動等	その他	合計
	1年生	1	21	19	1	0	0	0	0	42
2年生	1	6	15	1	0	1	0	0	24	
3年生	0	0	8	0	0	1	0	0	9	
単位制	0	2	5	0	0	0	0	0	7	
合計	2	29	47	2	0	2	0	0	82	
定時制	1年生	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	2年生	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位制	0	6	9	1	0	1	2	0	19
	合計	0	10	9	1	0	1	2	0	23
通信制	1	4	7	1	0	1	0	198	212	
合計	3	43	63	4	0	4	2	198	317	

全日制	H27年度	学業不振	学校生活・学業不適応	進路変更	病気・けが・死亡等	経済的理由	家庭の事情	問題行動等	その他	合計
	1年生	1	7	12	1	0	0	0	1	22
2年生	0	4	7	0	1	0	0	2	14	
3年生	0	0	4	0	0	0	0	1	5	
単位制	1	2	0	0	0	0	0	0	3	
合計	2	13	23	1	1	0	0	4	44	
定時制	1年生	0	0	2	0	0	0	1	0	3
	2年生	0	1	2	0	0	0	0	0	3
	3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位制	0	5	2	0	1	3	0	1	12
	合計	0	6	6	0	1	3	1	1	18
通信制	0	2	6	5	1	5	0	0	19	
合計	2	21	35	6	3	8	1	5	81	

(2) 懲戒による退学者数

- ・平成28年度 全退学生徒 317人のうち0人
- ・平成27年度 全退学生徒 81人のうち0人
- ・平成26年度 全退学生徒 97人のうち0人

(3) 原級留置者数 ※ ()は前年度

1年生… 33人(26) 2年生… 31人(24) 3年生… 8人(6)
 4年生以上… 0人(0) 単位制… 1人(0) 合計… 73人(56)

VI 教育相談の状況

教育相談件数3,485件(前年度4,156件、前年度より671件の減)

○県教育機関所管機関の相談件数は392件、前年度より19件減少

○市町村教育委員会所管機関の相談件数は3,093件、前年度より652件減少

	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	合計
県教育機関所管	277 (301)	115 (110)	0 (0)	0 (0)	392 (411)
市町村教育委員会所管	1,237 (1,272)	726 (1,272)	719 (886)	411 (315)	3,093 (3,745)
合計	1,514 (1,573)	841 (1,382)	719 (886)	411 (315)	3,485 (4,156)